

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ぐいんた			公表日	2026年 5月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・子どもが好きなことに集中して取り組めるような環境づくりに取り組んでいる。	・子どもたちが好きなことに取り組むためには、もう少し人員を増やしスムーズな対応ができるようにしたほうが良いと考えている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	・好きなことをできる環境づくりの為、個別だけではなく小集団での課題を多く取り入れている。	・個々の得意を伸ばす療育をしっかりと行っていただくのであれば、職員数をもっと増やしたほうが良いと思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	・絵カードや写真での視覚補助を取り入れたり、クールダウンの部屋を準している。	・環境上の配慮は十分されていると思うが、階段など大人の目が離れると危ない箇所もあり、もう少し工夫ができないか検討する余地はあると思われる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・1階は身体を動かしたり集団での活動を行える空間となっており、2階は学習室、制作室と集中して行える空間としている。	・1階、2階と別れるため、指導員の人数は検討していく必要があると思われる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・子どもの状況に応じて、対応できる空間を設けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			・現時点では時間に余裕がなく、しっかりと出来ていない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・今回初めての評価表の為、しっかりと受け止めていきたい。	・今回初めての評価表なので、しっかりとご意見に耳を傾け改善できるところは改善していきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			・新規立ち上げ事業所なので、日々の業務をこなしていくだけで精一杯のところがある。意見等を伝える機会はあるが、業務改善までは繋がっていない部分もあると感じている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		・現時点では第三者による外部評価は行われていないと思うが、いろいろな方の話は聞き、運営に関しても模索中である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・個々で勉強してもらえよう、Jメドレーアカデミーへの参加や研修への参加もできる限りしてもらえよう（事業所内の人員の確保など）に取り組んでいる。	・事業所内の人員確保が難しい日もあり、希望する全ての研修に参加してもらうのが難しい場合がある為 今後更に人員確保に努めていく。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・支援プログラムを作成し、ホームページ（LITALICO）で公表し、また体験時にも保護者様にパンフレットを見ていただき説明しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			・そのように行っているが、まだまだ保護者様との信頼関係を深めていき、本当のニーズや課題を伝えてもらえるように努めていきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			・もっと時間を作ってきたい。 ・支援計画を作成する際に職員間で話はしているが、時間をしっかりとってのミーティングは難しくまだ出ていないので、今後できるように人員配置などを考えて行
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・連絡帳として利用しているデイロボにお子さんに、個々のお子さまの支援計画が表示される為 内容の確認が取りやすく、計画に沿って支援できている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			・発達段階シートなど標準化されたフォームなどを利用し、もっと職員間の共通理解を深めていけるようにしていければ良いと思う。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・放課後等デイサービスガイドラインに基づき、必要な項目を設定し、具体的な内容が支援目標に設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・それぞれの職員から提案されたプログラムをみんなで検討して選んでいる。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・お子さまの好きなことを中心に活動を行っているため、同じようなプログラムが続くことがあった時に、こちらから違う課題を提示するようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・個別活動と小集団活動は、常に組み合わせ支援を行っている。全員での集団活動は、事前に予定している時のみ行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・事前に職員間で話し合い、お子さまのその日の様子に合わせて柔軟に動けるようにいくつかのパターンを打合せしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・送迎後になることもあり、ゆっくり落ち着いた打ち合わせではないが、当日のお子様の様子は療育中などにも共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・連絡帳には、その日のお子様の様子を報告と共に記録として利用できるように記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・適切なモニタリング人数確保のため、開所時に契約した月日から6ヶ月とはせず、ゆっくりとお話できる時間を取るためまばらになるように調整している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	2	・相談員さんとのモニタリングでは、こちらでの様子を伝えるとともに、保護社機からの要望やお話などをお伺いするようにしている。	・まだ行ったことはないが、お子さんの成長の為に皆で状況を把握していきたいと思っている。 また会議に参加できるよう、体制を整えていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		4		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		4		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		4		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		・開所間もない為 家族が参加できるようなプログラムは行っていない。 今後 家族支援プログラムなどを行える体制を整えていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・見学、体験、契約時に丁寧に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			・小さいお子様だどうしても保護者様の意思や意向が尊重されがちになるが、その中でもお子様の意思や意向を尊重できるような支援計画を作成できるよう職員にスキルアップを行ってきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			・保護者の方からご相談があった際や、モニタリングの機会を利用し相談に応じる時間を設けている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		・保護者様からの要望が多ければ、今後検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		・今年度はハロウィン行事にて、近隣の地域住民と触れ合う機会を設けていた。	・今年度はハロウィン行事にて、近隣の地域住民と触れ合う機会を設けていた。来年度はクリスマスなどの行事にて、事業所内にて地域住民の方との交流ができればと考えている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			・職員間では様々なマニュアルも発生した場合を想定しての訓練も行っているが、ご家族の方への周知はまだ足りていないと感じる場面もある。今後積極的に発信していきたいと思う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			・まだまだ足りていないと思うので、今後更に具体的な訓練を増やしていきたいと考えている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・契約時に必ず確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・契約時に保護者の方に食物アレルギーについて書面にて確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			・安全計画書の内容に即した安全管理を行うようにしているが、まだまだ検討できる内容があると考えられる。今後も見直しを行いながら進めていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・体験時に施設等を見ていただき、安全確保に対する取り組みを見ていただいたり、説明したりしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			・現時点で大きなヒヤリハットはないが、大きな事故につながらないように職員間で共有していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			・職員個人個人のタイミングで研修を受けられる機会を設けている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・契約時にご説明をし、書面にてやむを得ず身体拘束を行う場合の保護者様のサインをいただいている。		